

3月7日から津波警報が変わります

気象庁では、平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震での甚大な津波被害を受け、津波警報等の改善に向けた検討を行い、**平成25年3月7日（木）正午から**新しい発表基準や情報文による津波警報等の運用を開始します。

津波警報・注意報等の主な変更内容

●**マグニチュード8を超える巨大地震の場合**は、その海域における**最大級の津波を想定して**、大津波警報や津波警報を発表します。このとき、予想される津波の高さを、「巨大」「高い」という言葉で発表して**非常事態**であることを伝えます。「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、**東日本大震災クラスの津波が来るとして、ただちにより高い場所に避難しましょう！**

●大津波警報や津波警報が発表されている時には、観測された津波の高さを見て、これが最大だと誤解しないように、津波の高さを数値で表わさずに「観測中」と発表する場合があります。「観測中」と発表されたら、これから高い津波が来ると考えて警戒を続けましょう！

津波警報・注意報の分類

	予想される津波の高さ		
	高さの区分	数値での発表	巨大地震の場合の表現
大津波警報	10m～	10m超	巨大
	5m～10m	10m	
	3m～5m	5m	
津波警報	1m～3m	3m	高い
津波注意報	20cm～1m	1m	(表記しない)

津波から命を守るためには、

- 強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら
- 揺れがなくても、津波警報を見聞きしたら

▶▶▶▶ **すぐに避難！**

津波警報等の変更内容等について、詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。

津波警報改善

検索

問い合わせ 大分地方気象台 防災業務課 ☎097-532-0644

教育の里づくり 学校じまん・園じまん ⑪ ～小原小学校～

小原小学校 山下 徹校長・児童数51人
 ホームページアドレス <http://syouota-ed.jp/kunisaki/owara>
 ☎0978-72-0044

本校は明治21年に学制改革により「小原簡易学校」を「小原尋常小学校」と改称し、昭和22年に新学制により「国東町立小原小学校」と校名を変更しました。平成5年には、開校120周年記念式典が行われ、今年度で創立139年目になります。昭和24年には、271人もいた児童数も、本年度51人まで減少しています。

本年度の学校教育目標は「確かな学力と豊かな心をもってたくましく生きる子どもの育成」です。「いのちきらめく 小原っ子」を合言葉として目標達成に向けさまざまな活動に取り組んでいるところです。

本校では、平成14年に「七巻様伝説」を創作し、太鼓や笛による演奏を全校児童で取り組み、平成15年には県子ども会連合会の発表会に出場をしました。本年度は、2月9日（土）に開催された「くにさき生涯学習フェスタ」で、ステージ発表をしました。

また、地域の美化活動にも力を入れ、児童は夏休みや冬休みなどの休業中には、地域の公民館や神社の清掃を行うなどのボランティア活動も積極的に取り組んでいます。

小原小学校では、以前から学校行事に、保護者や地域の方々が支援をしてくれており、8月の平和集会では、児童の発表のみならず、PTAによる読み聞かせや地域のおじいちゃん・おばあちゃんが戦争体験談を話してくれるなどの行事が伝統として受け継がれてきています。

特に、本年度は、「人権の花運動」の事業の指定制も受け、花づくりを通して、児童の情操を豊かにし、人権思想の育成を図る活動を行ってまいりました。この事業で、10月7日（日）の大運動会の際に、風船とばしイベントを行い、300個近くのメッセージを書いた風船を保護者や地域の方々と飛ばしました。天気も良く、風船は、遠くは佐伯市宇目町まで飛んでいきました。風船が届いた地域の19人の方からは電話や手紙による励ましの言葉をいただきました。

この事業に取り組んで良かったという児童の声や保護者の方々の声がありました。



七巻様伝説の演奏